



北海道合気道連盟 会長 兼平 民洋

どのような状況になろうと、開祖が示された、合気道とは「気育、知育、徳育、体育、それに常識の涵養」を心掛ける心身鍛錬の道であるとする不動の道標を、あらためて胸に刻み、各道場の指導者・道友が、互いに尊重し、共に少しずつでも成長できる年になればと考えています。



青森県合気道連盟 会長 田邊 孝美

コロナ禍で稽古も思うように進まず、各道場も工夫を凝らし、休みの時は自宅で自主稽古や合気道関連本の読書の推奨など、社会情勢に合った別の角度からの合気道探求を推しすすめたいと思います。個人的には有名師範の本を読み返し、生き様を勉強したいと思います。



岩手県合気道連盟 会長 日高 浩

新型コロナウイルス禍の中、本県は、昨年延期となった「全東北合気道演武大会」の主管県です。コロナ禍を乗り越え、「みちのく合気」の更なる充実・発展をめざし、「がんばろう岩手」を合い言葉に一層、努力します。皆様の益々の弥栄を御祈念申し上げます。



宮城県合気道連盟 会長 白川 勝敏

「日々の稽古が普通に行えること」が当たり前ではないということ肝に銘じ、感謝の心を忘れることなく、制約の多い中今できることを着実に実行していきたいと思えます。まずは県内加盟団体の結びつきを強化し県連盟を充実させ合気道の普及発展に貢献できるよう努めてまいります。



秋田県合気道連盟 会長 松田 健一

令和二年は新型コロナウイルスの感染拡大に始まり、今日でもなおその終息の姿は見えませんが、感染の拡大を防ぐには我々個々人も道場での稽古中を含め、日ごろ言われている基本的な感染予防を油断せずにきちんと行うことが一日でも早い終息につながるのだと思います。



山形県合気道連盟 会長 土田 稔

令和二年は、コロナの影響で県連盟行事のほとんどを中止や延期としたため、令和三年は工夫して恒例行事が実施できるようにしたと考えています。



福島県合気道連盟 会長 清野 和浩

各道場ごと延期していた演武会・講習会等が滞りなく開催できるよう、会員一同稽古に励んでいきたい。日々状況が変化する中で、どのように稽古を積み重ねていくか、会員それぞれが今一度自分の稽古を振り返るチャンスとして、この一年を存分に活かしたい。「倦まず弛まず」



茨城県合気道連盟 理事長 飯島 悦男

昨年は、コロナ禍の中、全国の皆様も御苦労したこと察します。当連盟でも各種行事は、中止となり、その状況でも中学武道普及には努めておりました。新年は、コロナ禍が収束し日常の活動に戻る事を願っています。皆様の御健勝をお祈り致します。



栃木県合気道連盟 理事長 牛木 陽二

本年は、昨年開催できなかった地域社会指導者研修会を実施するなど県内の合気道の発展に努めて参ります。



群馬県合気道連盟 会長 湯浅 康平

昨年七月、公共施設の閉鎖が解除され、稽古が再開できた時、体中の細胞が生き返ったような感動を受けました。本年は連盟各支部の人たちとの交流、親睦をより活発にし、合気道の素晴らしさを改めて感じられる年に行きたいと思えます。



埼玉県合気道連盟 理事長 吉田 忠明

昨年とは殆どの行事が中止となりました。一方で県内の各道場では、少しずつ限定した稽古を再開しております。今年も幾つかの行事を予定しておりますが、先ずは各道場が安全に稽古できる様、お互いの情報を共有化し、横の繋がりを大切にしたい活動をしていきます。



千葉県合気道連盟 会長 高橋 嗣慶

昨年は新型コロナウイルス禍の為、多くの県連行事が中止となりました。今年は新型コロナウイルスの早期終息を切望すると共に、昨年延期した三年毎の演武大会を予定し、新たな心で本年の活動に向かい、連盟の活況及び道の普及発展に努力致して参る所存です。



東京都合気道連盟 理事長 藤城 清次郎

昨年は、新型コロナウイルスに振り回された一年でした。令和三年も厳しい状況を覚悟しないといけないと思います。しかし弱音を吐かずに、逆境に於いても出来ることを前向きに取り組み、加盟団体の皆さんと更にコミュニケーションを図り、前に進んでいく一年にしたいと思います。



神奈川県合気道連盟 理事長 武田 義信

コロナ禍の中、神奈川県内でも11月時点でまだ稽古を再開できない道場もあり、一昨年までと同じような行事を行うことはまだまだ難しい状況ですが、可能な限り県内での合気道普及・発展に努めてまいります。本年も宜しくお願い致します。



山梨県合気道連盟 理事長 若尾 重廣

新型コロナウイルスが克服され、日常の生活と平常の稽古が戻った時、この間の一人稽古の積み重ね、制約された稽古環境での創意工夫が、決して無駄ではなかったと言える一年にしたいと思います。



長野県合気道連盟 会長 萩原 清

合気会本部師範による講習会を開催し技術水準の向上を図ると共に、県内各地で合気道教室を開催し、より多くの方に合気道を体験して頂き、合気道の普及を図る。また、未加盟団体に呼びかけ合気道連盟の輪を広げて行く。



新潟県合気道連盟 会長 福島 実

通常稽古や講習では、感染拡大防止ガイドライン(スポーツ庁合気会策定)を遵守し、感染症の予防に努めます。会員拡大対策研究・事故防止研修等についてリモートを主体に開催し、加盟団体の活性化とレベル向上に取り組みます。



富山県合気道連盟 理事長 島 恵司

生活様式が混沌としている中、県内での中学校武道複数授業モデル校への協力や地域社会指導者研修会の開催など、「OODA」ループを回して一つずつチャレンジします。



石川県合気道連盟 理事長 寺井 和弘

加盟6団体は、新型コロナウイルス感染防止に努めつつ、本年も合気道の一層の発展を目指して活動してまいります。



福岡県合気道連盟 理事長 野村 直美

先ず傘下の団体がコロナ対策を万全にしてコロナに負けないで稽古を続けて欲しい。早く収束お祝い合同稽古を連盟でやりたい。



岐阜県合気道連盟 理事長 潮見 元

昨年は、コロナ禍で分断された年でした。今年には、ウイズコロナで万全を期して稽古し、各道場、仲間との絆を確かめる年になりたいです。連盟として何ができるか、本部の師範のお力もお借りして、和と輪を広げてまいります。



静岡県合気道連盟 理事長 石原 克博

昨年は、日々の稽古の大切さを再認識することができました。本年は、稽古を通して改めて横の繋がりを深め、県連盟の活性化を促進していきたいと思えます。そして一つ一つの稽古を大事にし、道場内・外、社会地域の方々と和合して邁進してまいります。



愛知県合気道連盟 会長 澤田 俊晴

コロナ禍の中、合気道を志す者には稽古が出来ないという一年でしたが、基本的な体捌き・武器の動きを繰り返し、基本動作を再確認しました。改めて県連の若き指導者にも、しっかりと基本的な体の動きを学んで頂き、合気道発展のために尽くして頂けるようお願いいたします。



三重県合気道連盟 会長 畝原 正典

去年はコロナ感染の影響で連盟としての活動がほとんどできず悔しい思いをしました。今年こそコロナ感染が収束し活動が再開できることを願っています。令和三年は、合気会本部行事、稽古そして、自粛を余儀なくされた行事が一日も早く予定通り行える事を期待したいと思います。



滋賀県合気道連盟 理事長 平野 誠

令和三年度はできなかった行事計画をもとに検討を加えながら、コロナに対する予防策を踏まえた新たな活動内容を展開していきたいと思えます。コロナ禍の中を共に奮闘されている全国の道友の皆様のご健勝をお祈りいたします。



京都府合気道連盟 会長 坂根 弘基

パンデミックという厳しい現状の新年ではありますが、命と環境を守りつつ、同時に合気道を停止させぬよう、各人が、各道場が、府連二十三道場がその活動に集中し、精進していきます。本年もよろしくお願いいたします。



大阪府合気道連盟 会長 嶋本 勝行

コロナ禍の中「正しく怖れる」を基本姿勢に、無暗に怯むことなく、感染対策をしっかりしつつ、日々の稽古は淡々と粛々と進めて参ります。合気会本部との経糸・加盟団体との緯糸を紡ぎつつ確たる絆を醸成したいと祈念します。



合気道兵庫県連盟 理事長 佐藤 裕治

COVID-19の一日でも早い収束を心より願います。そして収束後は、合同稽古等の県連行事の実施に積極的に取り組み、県内における合気道の発展に従来以上に努めてまいりたいと思えます。



奈良県合気道連盟 会長 窪田 育弘

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の為、講習会、連盟理事会等の中止が相次ぎ、連盟活動が思う様に出来ていませんでした。今年には県連盟としての活動を再開できればと思っています。引き続き合気道の普及と発展に努めてまいります。



和歌山県合気道連盟 理事長 冷水 照夫

四月に熊野本宮大社国際奉納演武、七月に闘鶏神社奉納演武、八月に和歌山県指導者研修会が、開催されます。和合の精神で邁進してまいります。



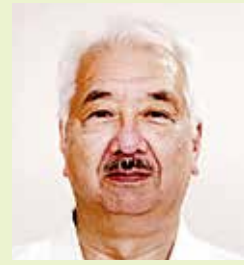
鳥取県合気道連盟 理事長 朝倉 一
 ウイズ・コロナの窮屈な状況は、むしろ合気道の和とふれ合いの価値を一層高めているのではないのでしょうか。新時代の合気道があるべき姿をつねに模索しつつ、本年も県下合気道愛好家の交歓と切磋琢磨、合気道の一層の普及に力を尽くします。



島根県合気道連盟 会長 田村 典行
 島根県における合気道の発展と普及を推進し、加盟団体及びその会員相互の融和と親睦を図ります。



岡山県合気道連盟 会長 石井 勇一
 全国のご道友諸兄に対し、新年のご挨拶とコロナ禍におけるお見舞いを申し上げますとともに、会員相互の日頃の活動協力に感謝申し上げます。本年も、壬生川堯一師範のご指導の下、礼節を第一に岡山県下における道統を守り、責任ある連盟活動に努めて参ります。



広島県合気道連盟 理事長 渡邊 祐司
 一日も早いコロナの終息を願うと共に、全国の団体の皆様のご多幸をお祈りいたします。これまでとは異なる新年となっておりますが、今だからこそ奮起し、これまでの活動を大切に更なる広島県の合気道の普及・発展、加盟団体の交流・研鑽を進めていけたらと思います。



山口県合気道連盟 会長 中村 克也
 コロナ禍で稽古再開に苦労したことを踏まえ、各道場間の連携を密にして、感染防止対策をさらに強固にしつつ、稽古再開を力強く歩みたいと同時に会勢を早く取り戻したい。



徳島県合気道連盟 理事長 工藤 泰助
 道統に繋がり会員一同、心を一つに互いに切磋琢磨、自己啓発に努め、人づくり、国づくりをモットーに地域社会に貢献することを旨とする。熱い熱を持って合気道一筋に邁進していく覚悟です。心の構えとして道統に繋がりながら、この道を究めるべく精進していきたい。



香川県合気道連盟 会長 山本 照之
 コロナ感染が収束しない状況下で、稽古時には毎回検温や体調チェック表を提出、マスクを着用している。今年も感染防止に留意し、合気道に精進していきたい。行事も工夫しながら実施、交流を深めていきたい。一日も早いコロナ感染の終息を願っている。



愛媛県合気道連盟 会長 松田 正司
 今年は新型コロナウイルス感染症予防を最優先に考えて、衛生管理を十分配慮しながら継続して稽古を実施していきたい。



高知県合気道連盟 理事長 松村 俊典
 昨年は新型コロナウイルスの感染の拡大とその防止対応に翻弄され続けた一年となりました。
 本年は何とかコロナ禍を克服し一定の制約は残ったとしても、安心して稽古や演武大会が行える平穏が取り戻せることを願っています。



福岡県合気道連盟 理事長 菅沼 守人
 昨年は新型コロナウイルス感染症のため思うように活動ができませんでした。本年は徹底した感染症対策を行いみなさんの安全と健康に十分配慮して活動し、加盟団体の友好を図り、心身ともに健康な一年を送っていただきたいと思います。



宮崎県合気道連盟 理事長 園田 誠

本年も、県下道友の気結びの一助を担える組織足るべく、企画運営に一層努力して参る所存です。



大分県合気道連盟 理事長 橋本 信一郎

未曾有のコロナ禍の中、感染者を絶対出さないよう万全の対策を取って稽古を行うとともに、今後コロナウイルスが終息し道場での稽古がいつも通りできることを信じ、加盟団体の連携を図り一層合気道の普及促進に努めます。



熊本県合気道連盟 会長 高本 和宜

昨年は、疫病により行事がすべて中止になりました。また、豪雨災害によって被害を被った会員もおります。今年は平穏な日々が訪れ、講習会等の行事が開催できるよう計画を立てていきたいと思っております。



長崎県合気道連盟 理事長 山口 博幸

現在のコロナの影響等不安な社会状況の下、加盟各団体の親睦と融和を図りつつ、各会員も合気道修行の目的を見詰め直し、日々の稽古に精進したいと思えます。



佐賀県合気道連盟 理事長 杠 好秋

昨年は新型コロナの猛威で稽古も制限されるという経験をしました。今年はこの環境の中で予防に努め、もう一度合気道の原点に戻り、稽古を工夫したいと思えます。また、合気道の普及拡大に向けて努力してまいります。



沖縄県合気道連盟 理事長 山口 大

昨年より続く新型コロナウイルスの影響により、我が県におきましても非常に厳しい稽古環境が続いておりますが、会員の皆様と共に地道に一生懸命稽古に励んでおります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



鹿児島県合気道連盟 理事長 山口 和文

全国合気道指導者研修会に連続して研修生を送り、中学校保健体育科授業の武道科目採用に協力しています。この中で研修生が習得した技術と理念、そして感動を活動方針とする。

富山県連盟

地域社会合気道指導者研修会

令和二年度富山県(富山市)地域社会合気道指導者研修会が十月十七日から十八日の二日間に、県営富山武道館において、開催された。中央派遣講師として櫻井寛幸本部道場指導部師範による講習会が四時間、地元講師として島恵司師範、上島政則師範による講習会が各二時間行われた。

櫻井師範は、基本技における「足捌き」、「入身」などの動作をゆつくり丁寧に判りやすく指導された。島師範は中学校における合気道授業の実践紹介を兼ねた指導を、上島師範は基本技を中心に指導された。



コロナウイルスで、開催が危ぶまれたが、参加者は稽古できる喜びをかみしめながら、熱心に取り組んでいた。今後の行事については状況を見ながら、対策をしっかりと行った中で開催になると思われる。

三団体二十名の参加者はコロナウイルス対策として、マスクを着用しての稽古となった。また、希望者のみ手袋の着用も認められた。